

2021（令和3）年度 日本教材学会中国・四国・九州支部大会

新型コロナウイルス感染拡大・医療崩壊の危機的状況の中、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

小中学校では新学習指導要領の本格実施が開始され、高等学校も来年度から本格実施となります。GIGA スクール構想、SDGs の推進、Society5.0 への対応など、学校現場は先生方の創意工夫と涙ぐましい努力によって、何とか持ちこたえながら、今後の展開を模索している状況ではないでしょうか。このような状況に対して、時代の要請に応える教材の開発は、本学会に与えられた重要な使命です。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、本支部大会は中止とせざるを得ませんでした。本年度は web 開催によって、会員の皆様の研究の向上及び情報交換の場を設けたいと考えました。これまで対面での開催も視野には入れてきたのですが、現在の感染の拡大状況を鑑みると、web 開催によらざるを得ないとの考えにいたりしました。

そこで、以下のように本支部大会を開催したいと考えます。

1. 日時 2022（令和4年）2月5日（土）（参加費無料）
12:30 受付開始（Zoom）
13:00～13:15 開会 司会：鈴木正行（香川大学）
支部長挨拶 福山大学教授 小原友行先生
2. 会場 香川大学教育学部（Zoom による web 開催）
香川県高松市幸町 1-1 香川大学教育学部
鈴木研究室 087-832-1432
携帯 090-3580-7958
メール suzuki.masayuki@kagawa-u.ac.jp
3. テーマ 「地球規模の危機下における SDGs の視点による教材開発の在り方」
4. 講演 13:30～14:30
講師：山陽学園中学校・高等学校 地歴部顧問 教諭 井上貴司先生
演題：「瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けての取り組み
～問題の「自分事」化に向けた SDGs の視点からの実践～」
※香川大学社会領域の学生も視聴させていただきます。ご了承ください。
5. 研究発表 14:40～15:40
※発表者を募集いたします。発表 20 分、質疑・応答 5 分
別紙要項・申し込み書をご覧の上、鈴木宛メールにてお申し込みください。
6. 総会・今後に向けて 16:00～16:30

中国・四国・九州支部大会 担当校
香川大学教育学部 鈴木正行